

人間の失敗

岐阜市立陽南中学校 2年

関本 啓介

「壊れるのは一瞬」

確かにそうだ。一生懸命作ったものでも、買って来たものでも、もともとあったものでも。そして、元に戻すのに時間がかかるもの、元に戻すことができないものもある。

環境はどっちなのだろうか。

今、日本だけでなく世界で環境の破壊について問題視され、解決に向けて努力しようとしている人間がいる。だが、一昔前までは、開発がどんどん進められ、未来のことまで考えない人間もいた。

僕なりの理論でいえば、環境の破壊による温暖化などの環境問題は、人間への天罰である。豊かな自然を私利私欲のために壊し、建物を建てたりするなんてもっての外だ。人間が今更環境問題を解決しようとしても時すでに遅し、手遅れなのである。自然はもうカンカンに怒っている。

今では、水力発電、風力発電、太陽光発電などの再生可能エネルギーがあるが、昔はそんなものはなかったのだろうか。再生可能なエネルギーを知らなかったのだろうか。エコな発電を考える暇はなかったのだろうか。僕の中で疑問は山ほどある。

例えばプラスチックを見てみると、プラスチックは人口のもので分解されにくい。そのため、海に流れると生物がえさと間違えて食べてしまったり、体に刺さってしまったりと自然への影響のほか、生物にも影響が出ている。何にしても破壊することはとても簡単だ。だけど、元に戻すには、とても長い長い時間と労力が必要である。

でも、今私たちにできることなんて本当にあるの？と思う人がいると思うが、実はやれることはいくらかもある。

例えば排気ガスの問題についてだが、これについては対策がある。まず、車を使わなくても移動できる距離であれば、歩くことだ。散歩感覚で歩けば健康にもいいし、体力もつき、リフレッシュにもなる。また、電気自動車を利用することも有効だ。電気自動車は少し高額となるが、私たちの生活が少しでもよくなっていくための、よりよい世界を創るための寄付だと思えばよい。

また、最近ではレジ袋の有料化がスタートした。僕は、レジ袋有料化にも意味があると思う。石油などの資源には限りがあるからであろうか。僕は、環境を守るためだと思う。多くの人は、有料化になる前にもらったレジ袋を保管し、買い物のときにもっていくと思う。だが、それでは全く意味がない。さっきも言ったが、レジ袋有料化には意味がある。そのもっていったレジ袋は、使用した後どうする？捨てる？これでは、意味がない。そこで、活躍するのはエコバックである。改めて見つめ直すと、とても便利なものだ。小さくたたむこともできるし、繰り返し何度も使用できる。もちろん、プラスチックを使用することもない。

人間が自分たちの都合で、私利私欲で破壊した環境を、人間が解決しよう、改善しようとしたってもう遅い。その考えは変わらない。しかし、開発をする前に、もう一度考えてもらいたい。その開発は正しいのか。もっといい方法はないのか。

そして、すでに環境破壊の影響を受けているものがあるということも考えてほしい。どこかの国の誰かが破壊した影響を、他のだれかが受けるのはおかしな話だ。こんな当たり前のことを忘れていけない。忘れないためにも、私たちは日々感謝しなければならない。今の生活を支えてくれている人がいるということ。食事は命をいただいているということ。

今中学生の僕にできることは、こういった当たり前のことに感謝する心をもつことだ。